



札幌大学孔子学院
062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1

第三回札幌大学孔子学院 講演会

日本における中国語教育の現状と課題 孔子学院に期待するもの

古川 裕
大阪外国語大学教授
中国語教育学会会長(日本)・
世界漢語教学学会副会長(北京)



【講演概要】

中国語はいまや英語に次ぐポピュラーな外国語となりました。日本の全国各地で、老若男女にかかわらず数多くの人々が中国語を学んでおり、その学習目的も文化教養や中国旅行、そして対中ビジネスなど人それぞれ様々にバラエティに富んでいます。また、近年特に注目されるのは全国の高等学校で中国語学習の機会が増えているという喜ばしい動きです。大学入試センター試験でも外国語科目の一つに中国語が採用されてから、すでに10年が過ぎました。

21世紀のグローバルな世界が中国抜きでは語れないと言われるように、21世紀の国際社会では中国語なしではコミュニケーションが成立しなくなるかも知れません。そのような社会背景のもとで、日本における中国語教育は十分に社会からのニーズに答えられているのでしょうか？本講演では、日本の中国語教育を概観して現状をスケッチし、韓国やアメリカの状況などとも比較してみます。また、日本における中国語教育が解決を要する問題点を指摘し、札幌大学孔子学院など日本各地に設立された孔子学院に期待する点を述べてみたいと思います。

【古川 裕教授紹介】

1959年	京都生まれ 大阪外国語大学中国語科、東京大学文学部卒業 東京大学大学院修士課程終了
1986年～1988年	北京大学中文系留学
1996年～2003年	北京大学漢語語言学研究中心兼任研究員
2005年～	大阪外国語大学教授
2006年～	世界漢語教学学会副会長(北京)、中国語教育学会会長(日本)

【著書】

チャイニーズ・プライマー(東方書店、2001)、「現代中国語総説」(三省堂、2004)、
「ヒアリング・チャイナナウ」(アルク)、「白水社中国語辞典」(共編)ほか